



境港流通プラットフォーム協議会分科会の取り組み

協議会 【第1回境港流通プラットフォーム協議会(平成27年7月11日設立)】

分科会 【第1回国内物流分科会(平成27年9月4日)】
【第2回国内物流分科会(平成28年3月11日)】



座長 鳥取大学工学部社会システム工学科 松見吉晴教授

参加者 有識者、商工会議所、物流関係企業(船会社、運送業者、荷役業者)、行政機関(圏域5市)

取組内容 内航トライアル輸送(SEA&RAIL)、物流基礎調査

【内航トライアル輸送(SEA&RAIL)】 実施主体:日本通運(株)、境港管理組合

内容 境港～北九州ひびき港のトライアル輸送を実施(H27.12.8～10)し、貨物の破損状況、所要時間、輸送コストなど検証



成果 ・海上輸送においても貨物に損傷の発生は認められなかった
・時間に余裕がある貨物については、海上輸送シフトの可能性を確認

課題 RORO船での北九州港～境港のトライアル輸送の実施による輸送コスト、リードタイムの縮減

【物流基礎調査】 実施主体:国土交通省中国地方整備局

内容 物流センサスや荷主・船主アンケートを実施し、山陰地方を発着する貨物と海上輸送にシフト可能な潜在的貨物量を把握



成果 ・荷主・船主から多様な貨物への対応を求められ、就航船舶はRORO船が最適であることを確認
・定期RORO船就航に伴う潜在貨物量を約350千トンと推定

課題 ・H27物流基礎調査を補完する調査の実施
・小口貨物に対応できる輸送会社同士の乗り合いや分業体制についての調査・検討

境港流通プラットフォーム協議会分科会の取り組み

協議会

【第1回境港流通プラットフォーム協議会(平成27年7月11日設立)】

目的

北東アジア・ゲートウェイ「境港」の強みを引き出し、国内RORO船の定期航路化による日本海側の海上輸送網のミッシングリンク解消、国際コンテナ船・国際定期貨客船の利用促進、国内・国際物流の接続による新たな物流ルートの確立並びに物流・商流の改善・効率化と貨物量の拡大に産学官が連携して取り組む仕組みを構築する。

会員

経済団体、物流関係者、港湾利用者、有識者、金融機関、行政機関

事務局

中国地方整備局、鳥取県、島根県、境港管理組合

取組体制

国内物流分科会、国際物流分科会、物流・取引環境改善分科会

